

第 2 回日本学術会議全国縦断サイエンスカフェ

サイエンスカフェの概要について（事後報告）

1. 開催日時：平成 28 年 12 月 4 日（日） 13 時 30 分～16 時 30 分
2. 開催場所：香川大学幸町キャンパス 研究交流棟 研究者交流スペース
3. 関係団体等：香川大学大学教育基盤センター（共催）、同大教育学部（共催）、同大博物館（共催）、香川県教育委員会（後援）、高松市教育委員会（後援）
4. 役割
司会：笠 潤平（香川大学教授）
講師：今田高俊（東工大名誉教授）、柴田徳思（(株) 千代田テクノル、東大名誉教授等）
5. 概要：
催しのタイトル：「日本学術会議全国縦断サイエンスカフェ@香川/香川大学 アドバンスト・セミナー 『核廃棄物処分の科学・技術と民主主義』」
内容の概要：今田高俊氏からの 30 分程度の話題提供と柴田徳思氏からの補足コメントにつづいて、話題提供者と参加者の間の自由な質疑応答や意見交換を中心とした茶話会を 3 時間にわたって行った。原子力発電によって生まれる核廃棄物の処分問題の現状、学術会議の提言の提起する「暫定保存」と「総量管理」の意味などをはじめ、関連する幅広い話題について、専門家と市民が双方向的に議論した。アンケート結果を見る限り、大変好評であった。（別紙に当日の配布資料をつける。）
6. 参加人数：36 名
講演者等：2 名
その他の参加者：34 名
7. 特記事項：
香川大学大学教育基盤センター他との共催の形を取って、同大学の市民・学生・教員向けの公開講座「アドバンスト・セミナー」としても位置付け、会場および運営体制への支援を得た。